

コンテナ積み直しをしたい場合の手順（搬出時）

実入り/空 各コンテナの引き取り時にコンテナ積み直しをしたい場合

- ①現在進入しているトランスファーレーンでハザードランプを点けて、
キャリアの運転手に知らせて下さい。
(危険な為トレーラーから降りての合図、また窓から顔や手を出して合図しないで下さい)



- ②状態確認の為、運転手さんは一度ゲートブースまで戻って下さい。
(ブースに戻る際はハザードランプを消して大丈夫です)



- ③ゲートブースにいるチェッカーに事情を説明して、コントロールセンターへ
連絡を入れてもらって下さい。

*その際に進入するトランスファーレーンをお伝えします

**場合によっては各コンテナの管理会社（リンコー・日本通運・富士運輸）立ち合いのもと、
積み込みになります。



- ④運転手さんは指定されたトランスファーレーンへ進入をして下さい。
(その際にはロック解除の確認を確実に行って下さい)



- ⑤積み込みが完了したら停止位置まで前進し、ロックを行いゲートブースで
搬出の受付を行って下さい。

注意事項： ①に記載のある通り積み込み時にはトレーラーから降りたり、
窓から顔や手を出して合図しないで下さい。



危険です



コンテナ搬入時ロック解除ができない場合の手順

実入り/空 各コンテナ搬入時にトレーラーのアンロックができない場合

①受付を行う前にC Y/木専のゲートブースから各コンテナ管理のオペレーターへ連絡を入れる。



②連絡を受けたオペレーターはコントロールセンターへ該当のコンテナ番号、トレーラーの背番号を伝えて進入させるトランスファーレーンを確認する。
(その際に使用する無線のチャンネルも決める)



③進入するトランスファーレーンを確認したら運転手に伝えてゲートで受付をしてもらう。



④コントロールセンターはキャリアの運転手へトレーラーの背番号、進入するトランスファーレーン、またオペレーター立ち合いの下作業を行う旨を無線で連絡する。



⑤コンテナ管理のオペレーターは無線を持ち、該当のトランスファーレーンに行き、キャリア運転手と無線連絡を取りながら作業を行う。
(②で決めた無線のチャンネルを使いやり取りをする)

*空コンテナの場合、輸出で使用 or ダメージバン扱いにするをオペレーターに決めてもらい、ロケーションを決める。

//作業写真//

①無線連絡を行いながらコンテナを掴む

②ロック解除出来た旨無線で伝える

